

身社会福祉の大成修

仙台市は泉社会福祉センター等大規模改修工事の建築、電気設備、機械設備3件の落札候補者を決定した。5月30日に開札したもの

で、既存規模はRC造2階建て、延べ1651・20平方。外壁、防水、トイレ改修などを進める。改修設計は建築が金原設計、設備設計は魁設計が担当した。

仙台市は秋保体育館大規模改修工事を公告した。参加申請は今年19日まで。開札は同26日11時20分に行う。予定価格は1億4790万円。

上層2階の改修に際しては、体育館の大規模改修で、既存施設はRC造2階建て、延べ2059・71平方。主に外壁、防水、トイレ改修などを実施する。設計はパウ建築設計室が担当。工期は2024年3月18日まで。

アスイク 白石市と協定締結 「子ども第三の居場所」を新設

NPO法人アスイク(仙台市宮城野区鉄砲町中3の14 大橋雄介代表理事)は、白石市での「子ども第三の居場所(しろいしきち(仮称))」の新築に向けて、5月31日に市と事業に関する協定を日本財団(東京都港区赤坂1の2の2 笹川良平会長)とともに締結した。建設場所は、同市東町2

の9の15地内で、敷地面積は336平方。JR東北本線白石駅と東北新幹線白石蔵王駅の中間に位置するアクセス性良好な場所。計画ではここにW造2階建て、166・77平方の規模の施設を想定。1階部分にはスタツフルームや入浴施設など、2階部分には学習施設や体験イベントスペースを整備する。

「子ども第三の居場所」は、日本財団が全国に広げているプロジェクト。生活困窮家庭やひとり親世帯などの子どもを対象とし、安心して過ごせる居場所です。小学校低学年から「生き抜く力」を育むことを目的としている。現時点で全国に168拠

点を構え、県内では岩沼市に続いて2カ所目となる。同時期に仙台市内での開所も見込んでいる。建設には日本財団の「子ども第三の居場所事業」の補助を受けて行う。今回建設する施設は、定員20人程度とし、少人数制で個別に手厚い教育ができる「常設ケアモデル」を採用している。このモデルは、心理的な不安を抱える子どもに対し、自治体や学校などの機関と連携して丁寧に対応することや保護者からの相談にも寄り添えることが特徴。

協定式で山田裕一市長は「子育て支援の充実を図り、市としても重要な役割を果たしてほしい」と期待を込めた。日本財団の金子知史経営企画広報部子どもサポートチームリーダーは「新しい拠点で事業をスタートできうれしい」と述べ、大橋代表理事は「子育て支援に力を入れている白石市に貢献していきたい」と話した。

現在、関・空間設計が設計を担当しており、着工は今年8月、完成は2024年2月を予定している。開所は同年3月ごろを見込む。参加資格は県内に本社または営業所を有する法面工事S等級など。予定価格は1億1909万7000円。石巻市十八成浜1工区の延長90mと2工区の延長35・5mで、吹付法砕石や鉄筋挿入工などを実施する。工期は2024年2月29日まで。



左から山田市長、大橋代表理事、金子チームリーダー

県東部土木

参加受付は19日まで

十八成浜災害防除工事

宮城県東部土木事務所は、十八成浜災害防除工事

を総合評価落札方式・条件付一般競争入札で公告した。参加受付は今年19日まで受け付け、開札は同22日13時30分から行う。

公告

工事 業務 その他

【東北整備局仙台河川国道事務所】

阿武隈川下流下名生地区堤防等修正設計業務(一般競争入札、総合評価落札方式) 開札 7月19日 11時

「参加資格」東北地方整備局港湾空港関係を除く

「業務内容」地質調査、築堤修正設計、樋門(吐出水槽)詳細設計 各一式

「履行期限」12月20日

※参加資格確認申請書の提出は6月21日まで

北村地区道路詳細設計業務(一般競争入札、総合評価落札方式)

法人または大規模な土木工事をを行う公益民間企業が発注し、13年度以降公示日までに完了した同種業務(砂防流域におけるモニタリング)、類似業務(砂防流域における維持管理計画)のいずれかの実績を有する単体または設計JVなどは「業務内容」土砂移動現象の実態把握及び除石管理を行う時期や除石量に関する検討(計画準備、資料収集整理、流域調査、モニタリングの実施および結果分析、河床材料調査、遊砂地内の除石頻度の検討、総合検討、報告書作成各一式)

「履行期間」2024年1月31日

※参加表明書及び技術提案書の提出は6月27日まで

【東北整備局鳴瀬川総合開発工事事務所】

鳴瀬川ダム本体詳細設計業務(簡易公募型(拡大型)プロポーザル方式、参加表明書+技術提案書同時提出型)

「参加資格」東北地方整備局港湾空港関係を除く

「業務内容」地質調査、築堤修正設計、樋門(吐出水槽)詳細設計 各一式

「履行期限」12月20日